

## 第11回南区自治協議会 議事概要

日 時 令和6年3月21日(木) 午後2時00分～午後3時25分

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
  - 2 南区自治協議会委員推薦の報告について、委嘱状交付
  - 3 報告
    - (1) 南区まちづくり活動サポート事業 実施報告
      - ・大郷地区コミュニティ協議会
      - ・味方地区コミュニティ協議会
      - ・大通子ども食堂運営委員会
      - ・庄瀬地域コミュニティ協議会
      - ・秋は南区！フェスタ実行委員会
  - 4 部会報告
    - (1) 部会報告
    - (2) 南区自治協議会提案事業事業評価について
  - 5 その他
  - 6 次回全体会の日程について
  - 7 閉会

### 事前配布資料

- 資料1 「南区まちづくり活動サポート事業」実績報告書、収支決算書
- (c) 大郷地区コミュニティ協議会
  - (d) 味方地区コミュニティ協議会
  - (e) 大通子ども食堂運営委員会
  - (f) 庄瀬地域コミュニティ協議会
  - (g) 秋は南区！フェスタ実行委員会
- 参考資料 南区自治協議会委員名簿（令和6年3月1日現在）

### 当日配布資料

- 資料2-1 南区自治協議会第1部会 会議概要
- 資料2-2 南区自治協議会第2部会 会議概要
- 資料2-3 南区自治協議会第3部会 会議概要
- 資料3-1 区自治協議会提案事業 事業評価書（第1部会）
- 資料3-2 区自治協議会提案事業 事業評価書（第2部会）
- 資料3-3 区自治協議会提案事業 事業評価書（第3部会）
- 資料3-4 区自治協議会提案事業 事業評価書（全体会）
- 資料4 令和6年度南区自治協議会開催予定

出席委員： 関川秀明委員、井上吉一委員、高橋文子委員、久保安夫委員、豊木 宏委員、川村朋生委員、有田正己委員、水野 武委員、志賀康則委員、星野正春委員、笹川和代委員、山坂和夫委員、奥田俊介委員、渡邊喜夫委員、若林三代子委員、佐野初美委員、上杉小貴子委員、堤 美幸委員、荏原宏美委員、松尾正行委員、織田絹子委員、泉田紀代恵委員、小嶋ノリ委員、高橋直廣委員、西山ゆき委員、山田久美子委員、半間奈菜委員 以上27名

欠席委員： 関根章央委員、阿部隆一委員、板谷昭人委員

事務局：(南区) 五十嵐区長、山際副区長、藤野区民生活課長、榎本健康福祉課長、柏木産業振興課長、猪俣建設課長補佐、小菅南区教育支援センター所長、

杉山白根地区公民館長、高橋地域総務課長補佐、灰野地域総務課長補佐、  
地域総務課職員

〔欠席所属〕 和田味方出張所長、登石月潟出張所長、滝沢農業委員会事務局南区事務所長

報道 0名

傍聴者 0名

(午後2時00分)

## 1 開会

○事務局（灰野地域総務課長補佐） （配布資料の確認）

○議長（高橋会長） では、ごあいさつ申し上げたいと思います。

今、Instagramで話題になっております南区の新しいキャラクター、みなみく妖怪をご紹介したいと思います。皆さん方のお手元に配付してあります、みなみく妖怪大図鑑がそれです。中を見ていただきますと、白根子さん、米俵さん、凧マンホール、あおぼー、はなおへびのかわいい5つのキャラクターが誕生しております。この後も新しい仲間の誕生を期待しているところです。

しろね大凧タウンガイドがまち歩きガイドの際に案内標識などで紹介してまいりました話題や情報のほか、凧合戦用のオリジナルカラーマンホール、昭和36年の米俵事件などを題材に、このキャラクターを通して明るいまちづくりに取り組み、関連イベントも開催してきており、来年度もいろいろ計画を進めているところであります。Instagramでは、日々新しい投稿がなされ、高い評価を得ています。ぜひ、皆さん方からも、この会議終了後、裏面のQRコードを読み取っていただいて、Instagramで紹介されておりますみなみく妖怪をご覧になってみてください。本当にほのぼのとしたいい絵が紹介されています。できれば、皆さんからもいいねをタップしていただければ幸いですと考えております。

それでは、本日の会議を進めさせていただきます。欠席委員は、現在のところ、報告はいただいております。出席者が過半数に達しておりますので、自治協議会条例の規定を充足していることを報告いたします。

傍聴者、取材申し込みは、現在のところ、ありません。

## 2 南区自治協議会委員推薦の報告について、委嘱状交付

○議長（高橋会長） 南区自治協議会委員推薦の報告及び委嘱状の交付に入ります。委員推薦会議の座長であります、渡邊委員から報告をお願いいたします。

○渡邊委員 それでは、ご報告させていただきます。南区自治協議会委員推薦会議座長の渡邊です。南区自治協議会委員推薦会議の報告をいたします。

令和6年1月31日付で根岸地域コミュニティ協議会の小林正秋委員より辞任の届け出があり、同年3月1日付で後任に根岸地域コミュニティ協議会から水野武氏の推薦がありました。水野武氏を後任委員として決定することについて、南区自治協議会委員推薦会議運営要綱第8条第1項の規定により、委員推薦会議座長の専決処分を行ったことを報告いたします。報告は以上です。

○議長（高橋会長） 渡邊委員、ありがとうございました。

なお、新潟市区自治協議会条例施行規則第3条第5項の規定では、委員の推薦に関し、区自治協議会があらかじめ議決により指定した事項、つまり、団体選出委員が任期途中において欠けた場合、後任の団体推薦委員候補者については、推薦会議の議決をもって自治協議会の議決となります。すでに市長への推薦を行い、水野委員は令和6年3月1日付で市長からの委嘱が決定したことを報告いたします。

ただいまの報告について、ご質問がありましたらお願いいたします。

ないようですので、委嘱状の交付を事務局よりお願いいたします。

(五十嵐区長より委員に委嘱状交付)

○議長（高橋会長） それでは、水野委員から一言ごあいさつをお願いいたします。

○水野委員 根岸の上塩俵の自治会長で水野といたします。

こういう場合は初めてといたしますか、何も分からないのですが、少しずつ勉強しながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（高橋会長） 南区自治協議会委員推薦会議の報告、委嘱状の報告を、これで終わりいたします。

### 3 報告

#### （1）南区まちづくり活動サポート事業 実施報告

○議長（高橋会長） 次第3、報告（1）南区まちづくり活動サポート事業の実施報告に入ります。本年度実施しました7団体の内、今月は5団体から取り組んでいただいた事業を順次ご報告していただきます。

はじめに、大郷地区コミュニティ協議会の『困ったときはお互い様』ひろがれ人の和地域の輪です。よろしくお願いたします。

○大郷地区コミュニティ協議会 大郷地区の企画を担当いたしました、遠藤雪恵と申します。報告申し上げます。

『困ったときはお互い様』ひろがれ人の和地域の輪です。

事業内容につきましては、大鷲小学校の児童を中心に、生ごみ堆肥を仕込んだ畝で野菜を育てることが、まず、1番目です。

2番目には、段ボールコンポストの講習会を開いて、地区内外に広くSDGsを発信し啓発を促すということです。

3番目には、演劇を通して自己表現を培うとともに、出演者同士の世代間交流を深める。さらには、練習した成果を地区敬老会で発表し、大勢の観客の前で練習の成果を発表することで子どもたちの自信につなげるということがあります。

4番目に、育てました野菜を使って、地域の食堂、カレー屋さんを開催いたしました。準備のための子ども会議を、小学校のランチルームをお借りして3回いたしました。たくさんのアイデアが出てまいりました。

評価と課題です。私どもの地域は非常に農業が盛んで、強みといえば農業ということかなと思ひまして、農業を生かした活動を展開することにいたしました。毎年、以前から食育活動で栽培とか収穫を子どもたちは体験しておりますが、今回初めて、肥料を使わずといひましようか、有機の肥料、生ごみ堆肥を作ることから始め、それを仕込んだ畝を造り、種をまき、あるいは苗を植え、そして収穫をするという一連の作業を経験してもらいました。これらのことは、今後厳しい世界情勢といひましようか、世の中になったときでも物を作ることができる、自分でも何か野菜を作ることができるという記憶が何かに残って、生きる力に役立ってくれるといひなと期待しております。

それから、段ボールコンポストの講習会では、地区内外に広く広報させていただき、市民生活課のご支援をいただきまして、多くの方の参加をもって有機栽培に関心を寄せていただいております。

演劇は、なかなか参加者が集まりませんで、夏休み中の少ない練習ではありましたが、学童の児童たちを中心に練習を進めてまいりました。敬老会では、みんなあがってしまつてせりふが飛んだりしたのですが、多くの高齢者の方が、本当に涙しながら温かい拍手を送ってくださったことがとても印象的です。子どもたちは、すぐ、終わるやいなや、次いつするのという感じで、とても楽しんでおりました。

地域の食堂のカレー屋さんは、子ども会議の結果、アイデア満載で実施されました。準備の段階から地域ボランティアにも参加していただき、深い話し合いができました。子どもたちはわくわくですが、大人ははらはらどきどきというところを融合して、どうにかたくさんの方に来場していただくことができました。参加児童も皆、調理室でもフロアでもとても自信に満ちた表情をして対応しておりました。大人のボランティア同士の交流もとてもよかったと感想をいただき、開催してよかったなと思ひました。

今後は、衛生や感染予防、児童の技能、調理に関する技能ですとかそういったことには課題がありますが、そこら辺も課題を見つけたということで、今後の伸びしろにしていきたいと思っております。

全体的な課題としまして、児童や生徒を中心に展開される世代間交流は非常に地域づくりに果たす役割が大きいのですが、どの世代も個々に多用で、交流の時間を共有することがとても難しく、アンケート結果を見ながら考察して、今後を考えていきたいと思ひます。児童生徒の親世代の

若い人たちからも、少しずつまちづくりに参加していただきたいなど願っており、そのようなことを加味して、楽しいことを今から考えて、新年度の事業を展開してまいりたいと思っております。

今回、いろいろなことで地元の農家から安く分けていただいたり、あるいは無料で寄付していただいたりということで、会計的にもかなり恵まれておりました。この場を借りて感謝したいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

○議長（高橋会長） ただいまの説明について、ご質問がありましたらお願いいたします。

○渡邊委員 1件だけ教えていただきたいのですけれども、演劇の題名は何だったのですか。

○大郷地区コミュニティ協議会 春さんのキノコクリームスパゲッティというタイトルです。

○渡邊委員 ありがとうございます。

○議長（高橋会長） ほかにありませんか。

なければ、大郷地区コミュニティ協議会の『困ったときはお互い様』ひろがれ人の和地域の輪の報告を終了いたします。大郷地区コミュニティ協議会の皆様、ありがとうございました。

続きまして、味方地区コミュニティ協議会のあじかた食の歴史ロマン隊です。よろしく願いいたします。

○味方地区コミュニティ協議会 味方地区です。よろしく願いいたします。

味方地区コミュニティ協議会では、あじかた食の歴史ロマン隊と銘打ちまして、子どもたちと一緒に地域の食について学ぶ機会を設けるということで事業を進めてまいりました。今年度、味方小学校、中学校がどちらも新潟市の食の推進校に選定されていたことから、子どもたちとぜひタイアップをして、より積極的に食への知識を深めていただきたいと思い、計画いたしました。

味方地区は、先人たちが開墾した大地の恵みである農作物、そして中ノロ川がはぐくむ鮭やマス、川ガニなど、大変食材が豊富です。これは味方だけではないかもしれませんが、一つ月潟地区や白根地区と違うのは、果樹の栽培がされていないということで、これは多分、土質の違いによるものだと思うのですけれども、その代わりに、非常に野菜の栽培が盛んです。特に、やわ肌ねぎと言われる長ねぎの栽培が多くされております。

こういったことにも焦点を当てて、子どもたちと一緒に、まずは、栽培できる野菜は自分たちで栽培してみようということで、小学生には学年ごとにいろいろな作物を栽培することに挑戦してもらいました。小学校1年生はさつまいも、2年生は大根、3年生は、栽培せずに地域の伝統食であるマス団子作りを経験してもらいました。そして、4年生が長ねぎ、5年生が学校田での米づくりということで、各学年、作物を育てるところから始め、その野菜を作ったものができるかなというところを6年生が代表してまとめて、地域の野菜を使ったお弁当づくりをやってみようということで、皆様のほうに届いております青いパンフレットが、6年生がみんなが作った野菜でこんなメニューはどうだろうということで、詳しく載せております。

そして、中学生はれんこんという食材に着目しまして、れんこんを生かしたメニューづくり、それから、ただ1軒れんこんを栽培していますところが上杉さんという農家なのですけれども、非常に評判のいいれんこんを作っている方で、こちらからお話を聞いたり、そして、れんこんの特質を地域のお店の方からお聞きしたりして、れんこんパスタを仕上げました。そのれんこんパスタについてのパンフレットが、もう一枚、こちらにありますので、後でゆっくりご覧いただきたいと思っております。

このように、小学校中学校それぞれがいろいろな野菜に馴染み、そして特質を生かしてメニューづくりに進み、そしてまとめてまいりました。

評価と課題なのですが、小中学生が地元産の食材や食文化の魅力について知ってもらい、それを基に新たなメニューを開発し、地域内外へ発信して味方地区を広くアピールする活動に取り組みました。先ほど言ったように、小学校では米を中心に野菜を、6年生はその食材を使ったお弁当開発、中学生はれんこんパスタ。そして、中学生はそれと同時に地域でどのような食にかかわる人がいるかということで、昔から西白根地区のお母さんたちがリヤカーで野菜を白根の町に売りに行くという、振り売りという形式なのですけれども、そういったことなども勉強して、歴史も含めて食を学びました。その結果、このオリジナルメニュー等は、今お見せいたしましたチラシ、パンフレット、それからSNSなどで紹介をしております。

最近話題になっております味方地区のスーパー、マサヤなのですけれども、マサヤにもこのパンフレットを置かせていただいて、野菜を購入されたときに一緒にメニューの参考にといいことをお願いしております。マサヤなのですが、また最近、ちょいちょいメディアに登場しておりま

して、今週末もまたテレビに出るといことなので、ぜひ、皆さん、ご覧いただければと思っております。

それで、この事業を1年で終わらせずに、ぜひ、来年度も継続できるように、味方地区コミュニティ協議会ではバックアップしていく予定です。来年度は、さらにもう一歩深く学んでもらい、今年の上台に積み重なるものにしたいと考えております。

反省点なのですが、事業後半に入りまして、インフルエンザ等の大流行で子どもたちが学級閉鎖になったりして、なかなか思うように進まずに、何とかやっとなにに合ったなという印象ではありましたが、そのような形で終わることができました。

**○議長（高橋会長）** ただいまの報告について、ご質問がありましたらお願いいたします。

いらっしゃいませんか。なければ、味方地区コミュニティ協議会のあじかた食の歴史ロマン隊の報告を終了いたします。味方地区コミュニティ協議会の皆さん、ありがとうございました。

続きまして、大通子ども食堂運営委員会の、食育を通した「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」です。よろしくお願いたします。

**○大通子ども食堂運営委員会** 大通子ども食堂運営委員会代表、渡辺悦子です。

昨年8月、南区初の定期開催の子ども食堂を発起人3人が中心となり、大通に立ち上げました。資金力のない私たちでしたが、まちづくり活動サポート事業という大きな後ろ盾があったおかげで無事に開設、そして、現在まで順調に運営を続けることができております。心より感謝申し上げます。大通になくなくてはならない存在になれるよう、これからも努力を重ねてまいりたいと思っております。

これまで何回か、大通地区以外の方から参加したいという問い合わせがありました。子どもが一人で来られる食堂ということで、参加者は大通限定としております。子ども食堂を必要としている人がいます。これから南区のあちこちで子ども食堂が立ち上がってくれることを願っております。皆さん、どうぞよろしくお願いたします。

実施概要について、代わって説明してもらいます。

**○大通子ども食堂運営委員会** こんにちは。スタッフの早見と申します。実施概要についてお伝えいたします。

まず、提案事業名が、食育を通した「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」です。

事業内容としまして、目的が孤食の解消、それと、つながりの創生を目指してやっておりました。

まず、食事の提供に関してですが、食に関するさまざまな経験を通して食育を推進すること。ボランティアによる手作りの温かい食事を提供すること。全員で食べるおいしくて楽しい時間を大切にすること。それを食事の提供の核としてやっております。

それと、安心できる居場所の提供として、食を通してふれあい、身近に信頼できる大人がいることを知ってもらおう。それと、子どもだけでなく、大人も安心していただける心地よい居場所として過ごしてもらおう。

3番の評価と課題についてです。開催日時が令和5年8月から令和6年2月、原則、毎月第4金曜日に開催しまして、全7回やらせていただきました。時間は16時30分から19時まで。延べ参加人数が、子どもが146人、大人が82人、ボランティアが105人で運営させていただきました。

目的と成果ですが、孤食の解消を目的としておりましたが、当初はほとんどが親子での参加があり、孤食を解消するための利用ではないと思われました。しかし、徐々に子どもだけの参加も増えており、利用の仕方が変化してきていることを感じています。多様な家族の参加があり、子育て支援の一助になっていると感じています。参加者はリピーターが多く、回を重ねるごとに参加する子どもたちの笑顔も多くなっていると感じています。

メンバーですが、食生活推進委員、大学生、子育て中の男性など、子ども食堂に関心がある地域の方が毎回15名ほどボランティアスタッフとして参加し、手作りのおいしい食事や子どもの遊び、勉強の見守りを担っています。参加者の食事への満足感が高いことが自慢です。また、ボランティアの募集が、地域で活躍する新たな人材の発掘の機会にもなっています。

白根児童館をはじめ地域内の商店や一般住民の方、農家の方など、いろいろなところから食材の提供を通してつながりができました。地域の方の温かい支援があって食堂が運営できていると感謝しています。

今後の取り組みですが、地域での子ども食堂の認知度がまだ低いため、広報活動が必要であること。参加者に楽しいと感じてもらえるよう、内容を充実させ魅力ある子ども食堂にするために、次の三つの方策を実施いたします。

1、回覧板を活用した定期的なお知らせ、小学校でのチラシの配布。2、地元のコミュニティ協議会や白根北児童館、南区役所、南区社会福祉協議会などとの連携を進めていくほか、目的に対し有効な関係性を深められる団体とも積極的に連携していきます。3、フリータイムを交流時間にします。16時30分から18時までのフリータイムにミニイベントを開催することで、魅力のある時間にする。コミュニティ協議会でのサークル活動をしている方などに講師を依頼し、子どもたちに地域の魅力を伝え、地域の方と関わる時間になるようにするというを、今後、進めていきたいと思えます。

ここには書いていなかったのですが、地域の児童館ですとかコミュニティ協議会の方々と連携してとても印象に残っていたのが、7か月の赤ちゃんを一人で見ているお父さんの参加が一度ありまして、それは児童館のお誘いもあってきていただいたのですが、今、本当に子育てのお父さんの役割というのは本当に過渡期で変わってきていて、まだまだパパ一人で支援しなければいけないという状況でも、パパを支援しなければいけない状況でもあるので、その一翼を担えたことが、私たちはやっているととてもよかったなと思っていますし、先ほど代表からありましたように、今後もいろいろな連携をしながら、必要な方に届くように、まだまだ本当に認知度がそれほど地域でもないで、活動は続けていきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございます。

**○議長（高橋会長）** ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。

なければ、大通子ども食堂運営委員会の、食育を通した「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」の報告を終了いたします。大通子ども食堂運営委員会の皆さん、ありがとうございました。

続きまして、庄瀬地域コミュニティ協議会の、温故知新～愛するまち庄瀬です。よろしくお願いいたします。

**○庄瀬地域コミュニティ協議会** 皆さん、こんにちは。庄瀬地域コミュニティ協議会の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちが取り組みました南区まちづくり活動サポート事業についてご説明させていただきたいと思えます。皆さんからは報告書をご覧いただいて、この報告書に沿って説明させていただきます。

事業名は、温故知新～愛するまち庄瀬です。庄瀬が町かというように疑問を呈する人がいるかもしれませんが、以前は映画館がありました。パチンコ店もありました。造り酒屋もあったということです。

そこで、事業の内容です。賑わいがあつたころの庄瀬の商店街のようすを掘り起こし、後世に伝承するため、地図やエピソード集を作成するというです。7月からは、小学校の夏季休業課題として祖父母への取材を依頼。9月からは、地域住民への情報提供依頼。コミ協日より、あるいはそれぞれの会議でお願いしています。9月18日には敬老会にて情報提供を依頼させていただきました。10月21日、地区文化祭にて展示、情報共有させていただきました。12月からは、冊子の編集作業に入りました。2月5日、小学校にて総合授業。2月26日に冊子を配布させていただきました。皆さんのお手元にあります、この冊子です。ピンクで、桜の開花に先駆けて、満開となっております。今の経過については、添付している写真もご覧いただければと思っております。

評価と課題です。これも読んで説明させていただきます。当事業は、地域の商業が賑わいを見せ活気に満ち溢れていたころの庄瀬を想像すらできない若い世代に語り継ぐための資料を残すということ、昔の思い出話をする事で多世代の機会を作ること、また、未来の庄瀬の担い手に、昔に負けないような地域のビジョンを描くきっかけを作るという目的で、実施させていただきました。

当時の正式な資料が残っていないことから、あくまでも住民の記憶の中にあるエピソードを集めたため、内容については正確なものではないですが、子どもから高齢者まで幅広く情報を求め、話題にしてもらうことで、地域の歴史の伝承と多世代交流のいい機会となりました。エピソードからは、当時の地域民のたくましさや助け合いの姿が垣間見え、今後の地域活性や支え合いの仕組み構築のためのヒントとなりました。

地区文化祭では、それまで収集した情報をもとに作成した地図等を掲示し、来場者にさらなる情報を付せて貼ってもらいました。その他、敬老会、地域の茶の間、しなの園、同級会でも話題となり、さまざまな場所で盛り上がりました。小学校では、地域の高齢者から実際に話を聞く機会を設けてもらい、子どもたちが今では想像できないようなまちの様子に、驚きとともに羨ま

しいという声が上がリ、自分たちも賑やかなまちを創りたいという刺激にもなったのではないかと思います。地域住民からは貴重な写真の提供も多くあり、まさに地域全体で作り上げた冊子となりました。

今回は商業をテーマとしましたが、取材では、祭りや運動会といった地域行事の話も多数寄せられ、テーマを変えて再度実施することも検討していきたいと思っております。

添付した写真をご覧いただければ、そのようすがお分かりになるかと思ひます。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

○議長（高橋会長） ただいまの報告について、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○上杉委員 庄瀬の昔の町の姿がこの写真の中にたくさん納められていて、とても温かい気持ちになりましたが、この冊子は全戸配布で皆さんの手元に届いているのでしょうか。

○庄瀬地域コミュニティ協議会 すべての世帯に配布させていただきましたし、学校等にも配布させていただいたところです。

○上杉委員 おじいちゃんおばあちゃんたちが見て、昔の記憶を思い起こさせてくれるような冊子で、大変だったなと思ひます。本当によくここまでまとめられたなと思ひて感心しています。ありがとうございます。

○庄瀬地域コミュニティ協議会 ありがとうございます。

○議長（高橋会長） ほかにありませんか。

なければ、庄瀬地域コミュニティ協議会の、温故知新～愛するまち庄瀬の報告を終了いたします。庄瀬地域コミュニティ協議会、ありがとうございました。

続きまして、秋は南区！フェスタ実行委員会の地域ポータルサイト「(仮称)南区ナビ」の制作です。よろしくお願ひいたします。

○秋は南区！フェスタ実行委員会 秋は南区！フェスタ実行委員会の栗原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本事業は、南区のいろいろな観光情報とか、地域団体の情報がなかなかなく、実は、秋葉区ではc o c o m oという越後天然ガス株式会社がやられている情報媒体があったり、西蒲区だと、にしかんという観光情報サイトが昨年度立ち上がっているのです。それで、私は県外出身で、東区に住んでいたのですけれども、新潟市に住んでからしばらくの間は南区になかなか立ち寄る機会がなくて、いろいろと仕事でかかわるようになって初めて、あ、フルーツが盛んなんだとか、凧合戦ってこんなにでかい凧が本当に飛ぶんだとか、お祭りの空気とかもすごいな、みたいなことをとても実感したのです。

そういったものを、今、実際、私は観光の仕事もさせていただいているのですけれども、旅行会社とかにも紹介するときは結構困るなど。あと、私は新潟に来てから常々思っていたのですけれども、趣味を続けたいとか、外から来た人が地域でいろいろ頑張っている団体、それこそ今日発表されたような団体も含めてなのですけれども、あるかとは思ひのですけれども、自分がこっちに来て何かやろうと思ったときにどこに行つていいのか分からないとか、そもそもどんな方がいるのかもなかなか把握できないというのは実感的な課題として、新潟に来てから感じておりました。

それで、凧合戦の日などに凧組の皆さんとかにお話を聞いて、配信などをされているではないですか。ああいうものを聞いていてもなかなか人が来てくれない、なかなか人が増えないなみたいな声をよく聞いたりしていました。そういう中で、情報の発信をもう少し手軽に、かつ、集約されたものがあると、皆さんも多分、Y a h o o !とかいろいろ見られると思うのですけれども、いつも見るところがあるとそこから情報を知ることができて、さらに、今、秋は南区！フェスタだと、いろいろと、旧笹川家住宅のプロジェクトマップみたいなもの、和のヒカリなどはとても皆さん見てくれるのです。そうすると、そういう事業の情報を調べに来た人が、ついでに、あ、こういうのもやってるんだとか、南区ってこういうお店あったんだね、こういう活動されている団体があるんだ、面白そうだな、今度行つてみようかと思つてもらえるような、せめて導線を作りたいということが本事業の趣旨でした。

前置きが長くなったのですけれども、ということで、イベント情報だとかおすすすめスポット、そしてフルーツ、あと、食べる、見る、楽しむということで、域外の皆さんが、もちろん、区民の皆さんも知らなかった情報があったら、ぜひ、ここで集めていただけたらいいなという思いでホームページを立ち上げさせていただくことができました。

評価と課題ですが、機能のところにも少し書いてあるのですけれども、このホームページは、今回作ったのは、プログラムが書けなくても、W o r dとか、少しパソコンが使える人であれば

情報の更新ができるような仕組みを搭載しています。すぐに皆さんが更新できますよという形にするにはいろいろと整備が必要なのかなとは思っているものの、技術的な部分で言うと、こちらの団体はお任せしても大丈夫かなというところに関しては編集を、要はサイトは壊さずイベント情報だけ載せられるアカウントを作ってお渡しできるので、そうすると、知ってほしい方がいろいろおられると思うので、自分たちが出したいときに出して、知ってもらえるような場所がこれで一つご提供できるといいのかなと思っています。

実際にアカウント情報を提供できるところまでは、何かガイドラインの整備等が必要だと思っておりますし、課題にも記載させていただいているのですけれども、まずは、情報の掲載依頼をいただいたら掲載していきますというような形で、少しずつ学びながらやっていきたいと思っております。ですので、今後こんなことをやるよとか、こんな形で活動しているよとか、今は劇団の情報が載っているのですけれども、そういった形でうちの団体も紹介してほしいとか何かありましたら、ぜひ、教えていただけたら助かりますし、より盛り上がっていただけたいなと思っております。

皆さま、引き続き、どうぞよろしくお願いいいたします。ありがとうございました。

○議長（高橋会長） ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいいたします。

○西山委員 庄瀬地域コミュニティ協議会の西山です。

このサイトに情報を掲載していただきたい場合は、掲載料はかかるのでしょうか。

○秋は南区！フェスタ実行委員会 ありがとうございます。掲載料等は想定しておりません。頻度とかもろもろ、まずは無料で掲載していきたいと思っています。支障が出てきたらいろいろ考えたいと思います。

○西山委員 ぜひ、よろしくお願いいいたします。

○議長（高橋会長） ほかにありませんか。

ないようですので、秋は南区！フェスタ実行委員会の地域ポータルサイト「(仮称)南区ナビ」の制作の報告を終了いたします。秋は南区！フェスタ実行委員会の皆さま、ありがとうございました。

○秋は南区！フェスタ実行委員会 ありがとうございます。

○議長（高橋会長） 以上をもちまして、南区まちづくり活動サポート事業の実施報告を終了いたします。皆さま、ありがとうございました。

## 4 部会報告

### (1) 部会報告

#### (2) 南区自治協議会提案事業事業評価について

○議長（高橋会長） 続いて、次第4（1）部会報告についてと（2）南区自治協議会提案事業事業評価については関連がありますので、まとめて各部会長から報告してもらいます。

はじめに、第1部会長から報告をお願いいたします。

○井上委員 南区自治協議会第1部会の井上です。

開催日時、令和6年3月13日水曜日午後2時より午後3時30分、南区役所4階自治協議会委員室で行いました。

議題1、令和6年度提案事業について。今年度の実績を基に、令和6年度のスケジュールや事業内容を確認しました。

クリーンアップ月間。今後も継続し定着させていきたいということから、以下の意見が上がりました。クリーンアップ月間は10月と固定することで、さまざまな団体の年間活動、計画に入れやすくなると思う。クリーンアップ月間中は各地区でのぼりを立てておく事業のPRにつながるのではないかな。

防災意識啓発事業。今年度のイベントを基に、引き続き内容を検討していくことにしました。第3部会の味わい市場の日程が決まり次第、情報を共有してほしいと事務局に依頼しました。

2番、南区の公共交通について。令和5年度の南区区バスおよび乗合タクシーの運行状況について、事務局から報告がありました。また、高校生向けの区バス乗車促進事業について、令和6年度も継続する説明がありました。今年度の事業結果については、次回、報告してもらうことといたしました。

その他、次回会議日程を次のとおり決定しました。日時、令和6年4月10日水曜日午後2時。場所、南区役所4階自治協議会委員室です。

以上で報告を終わります。

○議長（高橋会長） 事業評価をお願いします。

○井上委員 南区自治協議会提案事業の事業評価書。南区自治協議会第1部会。

テーマ・事業名。きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業、防災関連イベント事業といたしまして、事業予算100万円です。

事業目的・概要。南区民や地区で活動する団体を対象に、清掃意識やモラル向上につなげることを目的に、強化月間を設けて南区全体で清掃活動を実施します。日ごろ防災意識が希薄な人々の防災意識を高めることを目的に、多くの方が来場するイベントに出展し、防災食の試食や防災クイズ等を実施します。

事業の実施実績。実施回数、参加者数など。きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業。南区の各種団体による清掃活動の実施。日時、令和5年10月1日から10月31日火曜日。参加団体28団体、申込人数2,175人。雨天により2団体が中止。

南区内の清掃活動の実施。区ホームページやX、区だより以外にも、小・中・高校、商工会、地域生活センター、出張所等にチラシを配布し広報を行いました。

防災関連イベント事業。第3部会主催イベント「南区味わい市場」における防災ブースの出展。防災食の試食品や防災食レシピの配布、防災クイズの実施。新潟防災ナビアプリ、新潟市防災メールの登録方法の案内。日時、令和5年10月14日土曜日午前9時から正午まで。会場、左エ門小路。参加人数、派遣防災士4人、自治協第1部会委員8人。防災ブース来場者延べ人数。アンケート回答者90人、試食288人、防災クイズ184人、メールおよびアプリ登録者37人。

事業の評価。地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など。

きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業。評価。例年、清掃活動を実施している自治会だけではなく、企業や学校、任意団体など、さまざまな団体から申込みがあった。区民の清掃、美化意識を高めるために一定の効果があった。

課題及び今後の取組。企業に足を運び事業の趣旨を説明できると、より多くの企業の参加につながるのではないかと。年間スケジュールの関係から、学校行事とするには課題が多いが、子どものうちから美化意識を啓発するために、子どもたちから可能な範囲で参加してもらいたい。表彰やポイント制を取り入れると興味を持ってもらえるため、PRもしやすくなるのではないかと。

防災関連イベント事業。評価。第3部会と一緒に事業を実施したことで協力体制が生まれ、相乗効果があった。多くの方が防災ブースを訪れ、盛況だった。防災ブースの準備をすることで、委員自身が防災に対する知識を深めることができた。防災アプリや新潟市防災メールを登録していった人が予想よりも多かった。登録したくてもやり方が分からなかった、やろうと思っていたが登録するきっかけがなかった人たちのニーズをつかむことができた。

課題及び今後の取組。今回はクイズやアプリ登録など、広く防災をテーマにしたが、テーマを絞ることも一つの方法。防災士会への依頼期間を長めに取り、より広く南区防災士会からの協力を得られるようにしたい。

○議長（高橋会長） 続いて、第2部会長から報告をお願いいたします。

○荏原委員 第2部会です。

第2部会は3月12日火曜日午後より開催いたしました。

概要になりますが、1番、令和5年度市長と区自治協議会委員との懇談会についてということで、前回の部会で決定しました市長への質問の2点について、再検討を行いました。質問内容をさらに掘り下げるような形で検討を行いました。

(1) 中学校の部活動地域移行について。本件については、2月全体会で担当課から説明を受けたところでしたが、具体的なイメージが持てるものではなく不安が残っているということで、以下のように疑問点を明示することとしました。①令和8年度以降については平日16時45分まで各校で部活動の実施が保障されているのか。②費用面の補助について、指導者、移動費用、施設利用料、保険料をどこまで想定しているのかという点。③活動場所、移動手段的確保について。④地域移行した際、事故等あった場合の対応及び保障について、市は関与していただけるのかということでした。

続いて、(2) 多様性の視点を取り入れた避難所運営についてということで、福祉や女性の視点を取り入れた指定避難所の運営マニュアルの作成を求めることに加え、例えそれが整備されていたとしても一般の人に知られていないということから、障がいのある人などだれもが安心して避難できるように、受け入れ体制についての広い周知を求めることといたしました。

その他といたしまして、次回の部会開催については4月12日金曜日午後からです。部会の会

議の報告は以上になります。

続いて、資料3-2の事業評価書をご覧いただきたいと思います。テーマ・事業名です。引き続きになりますが、南区家族ふれ愛事業と夏休みの宿題サポート事業の2点です。

事業目的・概要については、南区家族ふれ愛事業の12年目として児童生徒の絵画、川柳展を行い、家族ふれ愛月間のさらなる定着を図る。夏休みに子どもの学習サポートを行い、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、地域の人材を生かし、世代間交流の場とします。

続いて、事業の実施実績です。南区家族ふれ愛事業につきましては、南区「家族ふれ愛月間」絵画、標語、川柳展の開催ということで、令和5年11月1日水曜日から11月23日木曜日まで、白根学習館で展示を行いました。展示総数が648点でした。ほかにも、地区の文化祭ということで、地域生活センターで行われている文化祭等にも、同じようにその地区の作品を展示するような形で行いました。

続いて、夏休みの宿題サポート事業です。「みんなで宿題！3days～ハッピー夏休み♪～」ということで、開催を行いました。こちらは令和5年7月24から26日の三日間です。午前中になりますが、9時30分から10時30分ということで、1時間行いました。白根児童センターのご協力をいただきまして行いました。参加者、児童数延べ51名、ボランティア延べ13名で行いました。

事業の評価になります。南区家族ふれ愛事業につきましては、南区「家族ふれ愛月間」絵画、川柳展に多数の出品があり、恒例の事業として学校側にも定着してきています。展示が学習館の1階と2階に分かれていたため、全て見るのが難しかったというところもありました。委員が考えたオリジナルな賞の名前については、アンケートからも好評をいただきました。アンケートの回答数が14名ということで、少なかつたところが反省点になっています。もう少し観覧者数の把握ができるような工夫が必要かなというところでした。

続いて、課題及び今後の取組についてです。学校と連携した事業という面ではよいですが、制作についてスケジュール的に厳しく、締切までの提出が難しいという学校のご意見もありました。依頼方法の見直しが必要と考えております。あと、子どもたちの家庭の状況はさまざまであり、テーマに家族という言葉を引き続き使用するかということも検討が必要となっています。学習館で一堂に展示することにこだわらず、各地区の展示、さらに、展示以外の取組み、映画などのアイデアも出しておりますが、検討していきたいと考えています。

続いて、夏休みの宿題サポートについてです。評価です。子どもたちが集中して学習を行うことができ、夏休みの生活のリズムをつくり、家庭支援の一助となりました。保護者からは、もっとやってほしいというようなお声もいただいております。参加者募集や申込受付などについては、会場となった白根児童センターの方からもご協力をいただき実施することができました。

課題及び今後の取組です。他の地域でも実施できるかどうかということも検討していきたいと考えています。あと、ボランティアスタッフとして、どのようなサポートの仕方がよいかという戸惑い、どこまで教えたらいいいのかとか、そういったサポートのところ、そちらの方針を決めて、事前にスタッフ同士で共通の認識を持ったうえで、運営の面でそういったところをまた皆さんで検討していきたいと思っています。今回の反省点を生かして、当日の運営方法などを見直し、より子どもたちにとって有意義な会となるようにしていきたいと考えています。

○議長（高橋会長） 続いて、第3部会長から報告をお願いいたします。

○松尾委員 第3部会の松尾です。

令和6年3月11日に午後1時から開催いたしました。

1として、令和6年度の自治協議会提案事業については、令和6年度に実施する提案事業について、開催日の候補や3セットツアーにおける訪問地の案など、フリートークでアイデアを出し合いました。今回出た意見を基に、4月からの事業に本格的に検討していきます。

まず、味わい市場で出た意見です。他区や他市から訪れる駐車場を確保するため、次回は日曜日を開催としたいということです。候補日は、第1候補が9月29日日曜日、第2候補が10月14日、月曜日ですけれども祝日。第3候補を10月19日土曜日と考えていきたい。これは他者の行事と重ならないような配慮をしながら考えていきたいということです。

それから、会場は2年続けてきた左エ門小路を利用させていただきたい。六斎市とは、今年度実施したガチャ券でコラボができるように協力を呼び掛けていきたいということです。

3セットツアーで出た意見です。次回は、新高を味わえる日程でツアーを行いたい。前回、新高が全滅した関係でできなかったのですけれども、次回は新高を目標にやっていきたい。そのため、10月の中旬、10月20日以降の平日2日間で検討していきたい。南区の割烹の魅力

を伝えるために、ランチは金長だけでなく、毎年変えながら紹介していきたい。浅乃澄はにいがた南区創生会議で実施したバスツアーで受け入れており、ノウハウもあるので、候補としては考えていきたい。今回は体験を取り入れたツアーもいいけれども、また企業見学、参加者の年齢層から藤村式黒板の見学ができればという意見も出されました。小学校時代を思い出せ、ノスタルジックでいいかもしれないという意見です。

その他としては、次回の開催について、4月8日午後1時からということで決定いたしました。

それから、区自治協議会提案事業の事業評価書ということで、皆さんのところにあると思えますけれども、第3部会としては、テーマ事業、南区おいしいもの満載お宝探訪事業、産業・伝統・味覚南区3セットツアー事業です。

その事業目的については、そこに記載してあるとおりの形で進めますし、事業の実施実績については、昨年度やった中では、南区おいしいもの満載お宝探訪事業については、来場者が大体1,000人弱ということで、順調にいったのではないかと思います。

それから、産業・伝統・味覚の3セットツアーは昨年度第1回目だったのですが、場所的にそのような形で進めて、25名ずつの案だったのですが、かなりの応募者があったということで、ふるいながらやったということです。

それから、事業の評価として、南区おいしいもの満載お宝探訪事業については、やはり、白根の六斎市と隣接開催したことで、まちなかの賑わいと地域の魅力を再認識する機会を創出することができました。今年度は初の試みとして、他の部会の産業振興課とも連携して取り組み、第1部会、先ほど報告があったのですが、防災ブースの出展や、ゆるキャラのレルヒさんを会場に呼ぶなど、催しとしては充実したのではないかと思います。あと、味わい市場の中には商品を500円以上購入してガチャ、カプセルなのでありますが、回せる企画を出店者から協力を得て実施し、約520名がガチャを行い来場者からは好評であり、ガチャを回すために再度買物をするなど、購買意識が出たのではないかと思います。昨年に続き、しろね大風タウンガイドと協働し取り組んだことも、また、参加者からの評価も高かったと思っています。

ただ、反省点としては、慢性的な駐車場不足や、味わい市場の来場者を六斎市に誘導できるかが課題となったことから、次回開催では、駐車場不足の解消、それから六斎市とのコラボ計画、さらに集客に向けたセレモニーなど、盛り上げる方策を検討していくことといたします。

それから、産業・伝統・味覚南区3セットツアー事業については、民間のツアーで行くことのない南区の名所を盛り込み、企画したことから、申込数がかなり多かったという結果です。

ただ、5,000円と安価だったことも考えられるため、来年度は市場価格を踏まえたうえで料金の検討を、アップの方向で検討していくということです。それから、果物魅力発信やツアーにおける自治協議会委員の関わり方が不足していることから、来年度の開催は、果物が豊富な時期で開催やバスツアーの訪問先の交渉やツアー当日に委員に役割を持たせながら、全員で活動していこうということで、検討しております。

○議長（高橋会長） ありがとうございます。

最後に、南区まちづくり活動サポート事業につきまして、私から報告させていただきます。

資料3-4事業評価書をご覧ください。令和5年度は、採択されました7団体から、地域の魅力を最大限に発信し、南区の活性化につながる個性あふれる事業が展開されたと評価しております。区内のさまざまな地域活動団体がこうした事業に取り組むことによって、団体や地域の活性化に寄与することができたものと思います。来年度も新たな視点によるアイデアを活用した南区のまちづくり活動サポート事業に期待したいと考えております。

それでは、これまでの事業評価説明に関しまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

○豊木委員 第9回のクリーンアップ事業についてご質問いたします。

全く同じ時期に住みよい郷土推進委員会が全く同じような内容のイベントをやりまして、のぼり旗を立てて清掃して、コミュニティ協議会の役員を動員して作業に当たったのですが、同じことを2回続けてやるので、またかよといやな顔をされました。この辺、もし同じ時期にほとんど同じ内容のイベントをするようでしたら、どこかと相談して時期をずらすとか、あるいはタイアップして大きなイベントにするか、何か工夫して、のぼり旗を立てて掃除してたたんで、また来週のぼり旗を立てて掃除してと。クレームがつかましたので、その辺、考慮していただけたら幸いです。

○議長（高橋会長） 要望でいいですか。お答えは要りますか。

では、マイクをお願いします。

○井上委員 ありがとうございます。今おっしゃった質問の内容なのですが、当然、そういう意見はありまして、各地区も、通常、皆さん、美化活動に取り組んでおられます。そのうえでまた南区クリーンアップということをやりますと、先ほどありましたとおりぶつかったり、同じ時期ではなくて、してもらえないかという要望もありました。

しかし、趣旨といたしましては、今まで南区として全体で、そういった習慣で子どものころから実行して、みんなで南区をきれいにしていこうじゃないかという趣旨のうえで継続していくのが大事だということで、皆さんのご期待にこたえられないかもしれないのですが、どうしても日にちが同じにやっってくださいというのは少し無理なことがありまして、当然、今までやられている方はそうやっていただいてもけっこうですし、私ども自治協議会としては、10月のときにしっかりと取り組んでいって、できるだけ一緒にやっていただければいいのですが、長い期間、1か月の間に、できたら、南区としてこういった、この月にきれいにしていくのだということ、子どもからみんな伝えていくという啓蒙活動も備えているつもりでやっております。これからもまたいろいろな意見が出てきたときには、そういった形でのぼり旗を常に皆さんで用意して、やっていますということ、のぼり旗の要望もまたいたしまして、できるだけ皆さんに周知、徹底していただくようなつもりで図っていきたく思いますので、今のご意見も参考にいたしまして、今後また取り組んでいきたいと思っておりますので、協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。

○議長（高橋会長） 次回、取り組む際の参考にしていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

○井上委員 ありがとうございます。

○議長（高橋会長） ほかにありませんか。

では、ないようですので、部会報告についてはこれで終わりいたします。

## 5 その他

○議長（高橋会長） 続いて、次第5、その他について、委員の皆さまから何かありませんか。ないようですので、事務局から何かありますか。

○小菅教育支援センター長 2月の自治協議会では、新潟市の中学生のための地域運動活動、文化活動について、学校支援課からの説明に対して、アンケートでもご意見、ご質問をいただいております。いただいた質問につきましては、今、本課とも共有しております、この回答がまとまりましたら、今後の自治協議会の中で資料等お示します。

○議長（高橋会長） ほかにありませんか。

○事務局（灰野地域総務課長補佐） それでは、事務局より、この場をお借りしまして、今年度をもちまして南区役所を退職、異動する職員よりごあいさつさせていただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

まずは、五十嵐区長からお願ひします

○五十嵐区長 皆さん、お疲れさまでした。この3月いっぱい南区長を退任させていただきました。5年間、この南区役所で区政運営をさせていただきました。1年目は産業振興課長として、翌年、ちょうど4年前、新型コロナウイルス感染症が生じた年に区長として頑張らせていただいたのですが、2年間、ご存じのとおり、なかなかコロナ禍の中で皆さんとお話できる機会がなく、本当に残念に思っていました。一昨年くらいから、南区も本当に賑わいが戻って復活して、区長として本当に嬉しく思っております。

これからも南区が活力を持って住みよいまちになっていくには、皆さまのご協力が必要です。引き続き、我々区役所も、また皆さま方の活動をご支援させていただきながら、一緒になってまちづくりに取り組んでまいりたいと思ひますので、引き続きのお力添えをいただきたいと思ひます。

私もこの南区の住民ですので、またちょくちょく皆さまの地域のイベント、行事に顔を出させていたいただきたいと思ひますので、お仲間に入れていただきたいと思ひます。本当に5年間、どうもありがとうございました。

○事務局（灰野地域総務課長補佐） 続いて、山際副区長、お願ひします。

○山際副区長 私も2年間勤めさせていただきましたが、このたびの人事異動を受けまして、現在の職場を離れることとなりました。次に行くところが人事委員会事務局というところで、中央区上大川前の役所のビルの中になります。

たった2年間でしたけれども、自治協議会などを通して、皆さまからいろいろなご意見を

いただき、大変ありがたく思っております。まだまだいただいた意見等の中でも片付いていないような課題もたくさん残って、非常に心残りの部分はあるのですが、しっかりと後任に引き継いでいければと思っております。

次のところは職員の採用ですとか給与ですとか、職員相手の仕事で、南区でやっていた地域の皆さまと一緒に仕事をするというのとは全然違う仕事になって、少し地味な仕事で、ときどきつまらないなという思いがわいてくるかもしれないのですが、そのときは南区にいた楽しい思い出を思い出しながら頑張っていきたいと思っております。たった2年間でしたけれども、皆さん、大変ありがとうございました。

○事務局（灰野地域総務課長補佐） 続きまして、藤野区民生活課長、お願いします。

○藤野区民生活課長 区民生活課の藤野です。

このたび、定年退職で市役所職員を離れることになりました。南区では区民生活課長として3年間、業務に当たってまいりました。その大半が、先ほど区長からも話があったとおり、新型コロナウイルス感染症対策ということで、もっともっと自治協議会の皆さん、コミュニティ協議会の皆さん、区民の皆さんと深くかかわりながら事業展開をしていきたかったところですが、こればかりは個人では何ともできないところでした。この部分が非常に心残りではありますが、次の職員に引き継いでいきたいと思っております。

今後は、民間の法人へ籍を移しまして、一市民として区役所行政、市役所行政、力になれるところがあれば精一杯かかわっていききたいと思っております。どうもお世話になりました。

○事務局（灰野地域総務課長補佐） ありがとうございました。

本日、欠席しておりますけれども、農業委員会事務局南区事務所長の滝沢も退職となりますので、ご報告いたします。

事務局からは以上です。

○議長（高橋会長） ほかに何かありませんか。

なければ、その他はこれで終わりいたします。

## 6 次回全体会の日程について

令和6年4月24日（水） 午後4時00分から 南区役所4階講堂

○事務局（灰野地域総務課長補佐） 事務局からご報告いたします。4月の歓送迎会につきましては、案内等ができ次第、改めて皆さまにお知らせいたしますので、よろしくお願いたします。

続きまして、先月の全体会におきまして開催の延期をお伝えしておりました、市長と区自治協議会委員の皆さまとの懇談会についてです。現在、市長と区自治協議会委員との懇談会は4月全体会、4月24日水曜日の開催前の午後3時からを予定として、現在、調整をしております。今後、市長日程の変更がありましたら、4月に部会が開催されますので、そこで改めてご報告させていただきたいと思っておりますが、今のところ、4月24日午後3時からを予定しております。それが終わり次第、第1回の南区自治協議会の開催という流れで、予定しておりますので、よろしくお願いたします。

## 7 閉会

○議長（高橋会長） では、以上をもちまして、第11回南区自治協議会を終了いたします。大変、皆さま、ご苦労さまでした。

（午後3時25分）